

柔道実技審査 個人票 (令和4年度)

(様式 3-3)

養成施設名					
受審番号		受審者名			
必修項目: 次の事項ができない場合には総合評価得点が F となります (F となった場合は必ずコメントを記入) ・柔道審査を受審する者としての身嗜み (爪、頭髪、髭、化粧など) が適切であり、装飾品はつけていないこと (眼鏡、時計、指輪、ネックレス、ピアス、ミサンガ、髪飾り、マニキュア、ネイルアートなど) ・金具の入ったサポーター類をつけている ・柔道衣の襟が前後逆である。ズボンを前後逆に穿いている ・前回受身で強く頭を打つ すべてチェック (できた:○ できない:× 評価できない: -)					
※ 「投の形」で出題した項目に○印をつけてください。					
実技項目	服装・態度	柔道を行うに当たり基本的な事項を審査する			
	礼法	受身・形において礼法が正しく行われているかを審査する			
	受身	左右の前回受身がしっかりできるかを審査する			
	投の形	①浮落②背負投③浮腰④払腰⑤送足払⑥支釣込足から一つを選択し審査する			
	口頭試問	通常審査が不可能な者を対象に行う 柔道について・礼法について・国際柔道試合審判規定について (各2題出題) 審査する			
評価 1	服装・態度	判定	評価 4	形	判定
1	柔道衣の着方		1	正しい間合い	
2	行動・言動		2	正しい組み方	
合計			3	正しい足運び	
評価 2	礼法	判定	4	正しい崩し方	
1	気をつけの姿勢		5	正しい投げ方	
2	正しい自然本体の構え		6	正しい受身	
3	立礼の正しい姿勢		7	残心	
4	左前右後、左座右起		8	正しい服装の直し方	
5	正しい坐り方、立ち方		合計		
6	坐礼の正しい姿勢				
合計					
評価 3	受身	判定			
1	正しい手の着き方				
2	適切な回転				
3	正しい受身で立つ				
4	大きな受身				
合計					
口頭試問評価 (各項目 2 題出題)		内 容			判定
1	柔道について (2 点)				
2	礼法について (2 点)				
3	審判規定について (2 点)				
コメント (採点が 11 点以下又は F の場合、必ずコメントを記入)					得 点
					点

審査員氏名

審査実施日 令和 年 月 日